

単元名 表現運動(フォークダンス)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすることができる。
- (2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

05100103_001

【準備等】フォークダンス指導用ビデオ、フォークダンス用の曲、フォークダンスの踊り方の解説図、カセットCDプレーヤーなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 フォークダンスの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 <p>★いろいろな国のフォークダンスをみんなで楽しく踊ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習資料の活用の仕方を知る。 ○各国のフォークダンスの特徴を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロブチカ（ロシア） ・マイム・マイム（イスラエル） ・グスタフス・スコール（スウェーデン） ・オクラホマ・ミクサー（アメリカ） ・ソーラン節、エイサー、阿波踊り（日本） ○代表的な外国のフォークダンスや日本の民謡を踊る。 <p>2～4 いろいろなフォークダンスを踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○代表的な外国のフォークダンスや日本の民謡を踊る。 <p>○反省し、まとめをする。</p> <p>5～6 みんなで踊りたいフォークダンスを選んで踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロック、サンバなどの曲の中から自分の好きな曲を選んで踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・1人で、2人組で、グループで ○今まで踊ったフォークダンスの中から、好きなものを選び、みんなで踊る。 <p>○第6時は単元のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各国のフォークダンスの特徴がつかみやすいようにビデオや解説図を準備する。 ・ステップや組み方の難易度を考慮し、感じの異なった踊りを用意する。 ・地域で親しまれている民謡や日本の代表的な民謡の中からも選択する。 ・基本的なステップや隊形などを身に付けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・難易度を考慮し、感じの異なった踊りを毎時間用意する。 ・ポイントになるステップや動きを指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の代表的な民謡や地域の民謡も取り上げる。 <p>【評】友達と協力して踊りの練習をする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲別に踊る場所を分ける。 ・友達のよい動きを取り入れながら自分の踊りを工夫するよう助言する。 <p>【評】曲に合わせて工夫しながら踊る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンスを選ばせ、学級全員で楽しめるようにする。 <p>【評】ダンスを発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。

【 備 考 】

学校や地域の実態に応じてリズムダンスを加えて指導することができる。

フォークダンスは、自分の心と体を解放し、友達と関わり合って踊ることが楽しい運動である。地域に伝わる踊りや世界の代表的な踊りを身に付けて、みんなで楽しく踊って交流する。また、踊りを通していろいろな地域や世界の文化に触れることができるようにする。

＜運動が苦手な児童への配慮の例＞

- ・踊ることが苦手な児童には、低学年で既習した簡単な踊りや、前時に学習した踊りを授業の導入で行うなどの配慮をする。
- ・踊りの特徴を捉えて踊ることが苦手な児童には、踊りの由来や背景を伝えたり、映像を見て踊りのイメージを捉えたりするなどの配慮をする。
- ・踊り方を身に付けることが苦手な児童には、教師が曲を口ずさみながら全体を大まかに通して踊り、難しいところは部分練習をするなどの配慮をする。